

国高っ子「国語」・「算数」の力と学習や生活の様子

～『R5 全国学力・学習状況調査(2023.4.18 6年生が実施)』結果から～

国語

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ ◇は対策

① 「学習指導要領の5内容における結果から」

「話すこと・聞くこと」の領域で、力がついています。特に、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができていました。「書くこと」に関しては課題がみられました。

② 『特に正答率の高かった問題』

◎目的に応じて、文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付けることができています。

◎文章の特徴を捉えることができています。

◎目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することが身に付いています。

◎日常よく使われる敬語を理解しようとする意識が養われています。

③ 『課題として』

▲文の中で、同音異義語(同じ音で異なる意味を持つ言葉)を正しく使うことに課題がみられます。

▲図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられます。



◇学校では … 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることや、記述をする場面で、伝えたいことを明確にし、わかりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフを用いるとよいか考える場面を授業中に設けます。また、学校行事や他教科の学習内容と関連付けて、「書きたい」と思うような仕掛けを取り入れていきます。

◇ご家庭では … 図表やグラフが使われることで、どのようにわかりやすく伝わっているか意識して、読書や新聞を読む習慣を身に付けることが大切です。

算数

① 『学習指導要領の4領域における結果から』

「データの活用」「変化と関係」の領域で、力がついています。「数と計算」の領域では、()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができていました。「図形」の領域に関しては課題がみられました。

② 『特に正答率の高かった問題』

◎伴って変わる2つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な言葉を選ぶことがよくできています。

◎正方形の意味や性質について、よく理解しています。

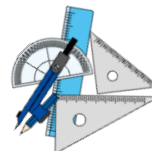
◎二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができています。

③ 『課題として』

▲(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題がみられます。

▲高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大小を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題があります。

▲正三角形の意味や性質についての理解に課題があります。



◇**学校では** … 機械的に答えを求めるだけでなく、「なぜそうなのか」「何を意味しているのか」ということを意識させながら考える学習の場を、授業で設定していきます。図形の領域では、ICT を活用し、図形を動的に変化させることで視覚的に捉えられるようにし、図形についての感覚を豊かにするような授業を展開します。

◇**ご家庭では** … 自分の考えや理由を説明する力は大切な力です。「なぜ?」「どうして?」と考えながら生活していくことを心がけましょう。日常生活の中でも、様々な図形に接する機会は多くあるので、それらに興味・関心がもてるようにしていきましょう。

学習と生活の様子

【家庭や地域に関すること】

◎ほとんどの児童が、朝食を毎日食べ、毎日同じ時刻に起きると答えており、規則正しい生活が身に付いています。
◎日本や住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている児童の割合が高いです。
◎今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が高く、地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童も多いです。

▲平日・土日ともに学校以外で勉強をしている児童の割合が低い傾向にあります。

▲家で読書をしたり、新聞を読んだりする児童が少ない傾向にあります。

◇学年に応じた家庭学習の時間を習慣づけ、家族一緒に読書をしたり、新聞を読んだりしましょう。



【自分自身に関すること】

◎いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている児童が非常に多くいます。

◎自分にはよいところがあると思っている児童が多くいます。

◎人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多くいます。

◎多くの児童が将来の夢や目標をもっています。

▲家で、勉強のために ICT 機器を使っている児童の割合が低い傾向にあります。

◇PC やタブレット等の機器の使い方を家族で話し合ってみましょう。

【学校に関すること】

◎学習の中で ICT 機器を利用することが役に立つと考えている児童の割合が高いです。

◎国語・算数などの勉強は大切だ、と思っている児童が多いです。

◎授業で学んだことを他の学習で生かしているという児童が多くいます。

◎多くの児童が、学校に行くこと、友だちと協力することが楽しいと思っています。

▲英語の勉強は大切だと思っているけれど、将来積極的に英語を使う生活をしたり、職業に就いたりしたいと考えている児童は少ない傾向にあります。

◇授業では、より主体的で対話的な学びを深めていくような ICT 機器の活用を努めていきます。

◇英語のみならず他の教科でも、学習したことを生活と結びつけるような内容を意識して取り入れていきます。